

東邦大学大森祭企画 区民公開講座

「腎臓病の進行を防止して、透析を遅らせよう」 —おいしく食べる腎臓病食試食会—

慢性腎臓病の概念が普及しまして10余年、我が国の末期腎不全で透析をされている方々はいまだ30万人を超え、400人に一人が透析患者です。また現在透析はしていないものの、慢性腎臓病として治療されている方は、国民の10%に上るといわれます。

腎臓という臓器が食物の窒素代謝物を排泄し、人体の恒常性を維持する器官である限り、治療の根本はどうやって窒素を体内に蓄積しないようにするかが重要です。腎臓はやさしさを待っています。低たんぱく高エネルギー食により、腎臓病の進行を遅らせ、透析に向かう諸症状を軽減する食事の大切さを講義させていただきます。そして、実際の食事の作り方と試食会を通じ、よりその理解を深めていただきます。当日は食事療法にまつわる書籍展示販売も行わせていただきたいと思います。ぜひお越しください。

東邦大学医学部 腎臓学講座 酒井 謙

主催 東邦大学大森祭実行委員会

共催 東邦大学医学部腎臓学講座、キッセイ薬品工業株式会社、池田書店

参加費 無料

参加見込み人数 100名（先着順）

2015年 10月24日（土）14:00～15:00

東邦大学医学部 本館1F 第1セミナー室
（写真の煉瓦の建物を入り、右奥です）



メインテーマ・プログラム概要

- 1 腎臓病 食事療法とは (東邦大学 酒井 謙)
- 2 腎臓病食試食会 (キッセイ薬品工業株式会社)

質疑応答 ご質問にお答えします

